

# I 2020年9月入学および2021年4月入学 公立はこだて未来大学大学院博士(後期)課程 留学生特別選抜概要

## 1 募集人員

システム情報科学研究科 システム情報科学専攻

4月入学 … 若干名

9月入学 … 若干名

## 2 試験期日

出願資格審査申請期間 2020年 6月 1日(月)～ 6月 8日(月)

出願期間 2020年 6月22日(月)～ 7月 3日(金)

試験日 2020年 7月29日(水)～ 8月 6日(木)

のうち一日

合格発表 2020年 8月17日(月)

## 3 入試会場

公立はこだて未来大学(函館市亀田中野町116番地2)

・函館バス 55A・C系統「赤川」行

「函館駅前」乗車「はこだて未来大学」(所要時間 約45分)下車 徒歩約1分

「五稜郭」乗車「はこだて未来大学」(所要時間 約25分)下車 徒歩約1分

・函館バス 55F系統「赤川」行

「五稜郭」乗車「はこだて未来大学」(所要時間 約25分)下車 徒歩約1分

# II 出願および選抜

## 1 出願資格

留学生特別選抜に出願できる者は、次の(1)(2)のすべてに該当する者

(1) 出入国管理局及び難民認定法に定める「留学」の在留資格を有する者または入学時に取得できる者

(2) 次のいずれかに該当する者

(a) 修士の学位または専門職学位を有する者および2021年3月31日までに修士の学位または専門職学位を授与される見込みの者

(b) 外国の大学において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および2021年3月31日までに修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者

(c) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および2021年3月31日までに修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者

(d) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および2021年3月31日までに修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与される見込みの者

(e) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者および2021年3月までに授与される見込みの者

(f) 外国の学校、上記出願資格(d)の指定を受けた教育施設または国際連合大学の教育課程を履修し、大学設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験および審査に相当するものに合格した者、および2021年3月31日までに合格見込みの者で、

修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者（以下「修士の学位を有する者と同等である者」という。）

(g) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

（「大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」および「外国において学校教育における16年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本学大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」）

(h) 本学大学院において、個別の出願資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で2021年3月31日までに24歳に達する者

※(h)は、修士の学位を有していない者を対象としています。

注1) 上記のうち、(2)(f)、(g)または(h)により出願しようとする者は、事前に出願資格審査が必要です。詳細は「Ⅱ-3 出願資格審査」をご覧ください。

注2) 9月入学者の方は、上記「2021年3月31日」を「2020年9月17日」と読み替えてください。

## 2 事前問い合わせ

出願前に指導予定教員へ入学後の研究計画等について問い合わせを行い、受入の同意を得てください。教員の連絡先は、edu@fun.ac.jp までお問い合わせください。

## 3 出願資格審査

出願資格(2)(f)、(g)または(h)については、出願前に資格審査を行いますので、申請期間内に書類を添えて申請してください。この時点では入学検定料を振り込む必要はありません。

(1) 申請書類

- ① 出願資格審査申請書
- ② 履歴書
- ③ 研究計画書(出願資格(g)、(h)のみ)
- ④ 最終出身学校の成績証明書
- ⑤ 最終出身学校の卒業(修了)証明書
- ⑥ 研究成果品とその要約(出願資格(g)、(h)のみ)
- ⑦ 業務実績書(出願資格(g)、(h)のうち職のある者のみ)
- ⑧ 大学院設置基準(昭和49年文部省令第28号)第16条の2に規定する試験および審査に相当するものに合格または合格の見込みであることがわかる確認書(出願資格(f)のみ) ※様式は任意ですが学長等の署名が必要です。

各書類の記入上の注意について「4 出願書類」をご覧ください。

(2) 提出方法

「Ⅲ 出願上の注意」の「2 出願方法」と同じ方法で提出してください。

(3) 出願資格審査結果

出願資格審査の結果は、2020年6月20日(土)までに本人に文書で通知しますので、許可を受けた者は出願期間最終日までに「4 出願書類」のうち、まだ提出していない書類を提出してください。

#### 4 出願書類

出願書類	提出が必要な書類		記入上の注意
	出願資格(2) (a)～(e)の者	出願資格(2) (f)～(h)の者	
志願票	✓	✓	<p>所定の様式に必要事項を記入し、指導予定教員より確認印を受けること。</p> <p>本人現住所は受験票や合格通知書の送付先となります。</p> <p>志願者出身国在住の保証人と日本国内在住の保証人の両方を記入すること。</p> <p>縦4cm、横3cm 上半身無帽正面向きで、出願前3か月以内に撮影された写真を、所定の欄に貼り付けること。</p>
履歴書	✓	出願資格書類	所定の様式に必要事項を記入すること。
研究計画書	✓	<p>✓</p> <p>((g), (h)は出願資格書類)</p>	<p>本学ウェブページからダウンロードした所定の様式を用いること。フォーマットやフォントのスタイル・サイズを変更しないこと。図や表を含めても構わない。図や表中のフォントは、原則として本文と同じものを使うこと。取り組みたい研究テーマに関して事前に指導予定教員と十分に議論をしてから作成すること。参考文献を参照する場合は、研究計画書の最後に参考文献リストとしてまとめること。各項目の字数制限はないが、簡潔で読みやすい文章を作成すること。提出の際は、片面印刷とすること。</p>
最終出身学校の成績証明	✓	<p>✓</p> <p>((g), (h)は出願資格書類)</p>	<p>厳封したもので、出願前3か月以内に発行されたものを提出すること。</p> <p>編入学等による認定科目がある場合は、編入学前の学校の成績証明書も併せて提出すること。</p>
最終出身学校の卒業(見込)証明書	✓	<p>✓</p> <p>((g), (h)は出願資格書類)</p>	厳封したもので、出願前3か月以内に発行されたものを提出すること。
研究成果とその要約	✓	<p>✓</p> <p>((g), (h)は出願資格書類)</p>	<p>研究成果物は(1)から(4)のいずれかとし、複数編を提出することができる。</p> <p>(1)研究論文(学会発表論文や高等専門学校等における卒業研究論文)※学会発表論文には、学会の概略および志願者の参加が確認できる書類を添付すること</p> <p>(2)研究報告書(公的プロジェクトにおける成果報告書)</p> <p>(3)デザイン作品をファイル等に綴った資料</p> <p>(4)個人で製作したソフトウェアまたはハードウェアおよびその解説書</p> <p>(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果物1編につき1つの要約を添付すること。</li> <li>A4用紙2枚以内で様式自由。</li> <li>・複数人による研究成果の場合は、本人分担部分を明記し、共著者や共同開発者の確認の署名が記載された書類を提出すること。</li> </ul>
最終出身学校の長または学部長の推薦状	✓	✓	様式自由
指導教員の推薦状	✓	✓	様式自由

業務実績書	職のある者のみ	職のある者のみ (g), (h)は出願資格書類	所定の様式に必要事項を記入すること。
検定料の入金を証明する書類	✓	✓	-
旅券の写し	✓	✓	顔写真が分かるようにコピーすること。
日本語能力を示す書類	もしあれば提出	もしあれば提出	-
TOEFL, TOEIC または IELTS の成績証	もしあれば提出 英語を母語とする者は不要	もしあれば提出 英語を母語とする者は不要	-
面接希望日記入票	✓	✓	-

(注) 必要に応じて、上記以外の書類の提出を求めています。

## 5 選抜方法

書類選考，面接

(※必要があれば面接に代えて電子メールやスカイプ等により質問を行う場合がある)

※ 面接では、これまでの業務（研究）実績，入学・進学後の研究テーマと遂行計画についてのプレゼンテーションを15分程度行います。

## 6 試験日程

2020年7月29日（水）～8月6日（木）のうち1日

面接集合時間については、後日文書でお知らせします。

## Ⅲ 出願上の注意

### 1 入学検定料

30,000円

日本円で30,000円になるように、以下の口座に入金し、送金を証明する書類を提出してください。また送金に係る手数料は、出願者が負担するものとします。

銀行名：みちのく銀行 函館営業部

口座番号：(普通) 091-2607311

口座名義：コウツクガ イガクホジシ コウツクコダテミライイガク ケンテイリョウ リジチョウ カタギリ ヤスヒロ

公立大学法人公立ほこだて未来大学検定料 理事長 片桐 恭弘

SWIFT コード：MCHIJPJT

検定料振込期間：2020年6月22日～7月3日【期間内必着】

(注) 一度納付された検定料は、理由のいかんを問わず返還しません。

### 2 出願方法

出願書類は本学所定の封筒に入れ、郵送または持参により提出してください。

**[申請期間最終日必着]**

提出先：函館市亀田中野町116番地2（〒041-8655）

公立ほこだて未来大学 事務局教務課教務・図書担当

電話 0138（34）6419

持参の場合、受付時間は出願期間内の午前9時～午後5時です。また、土曜日、日曜日および祝祭日は受付できません。

### 3 その他

- (1) 出願書類等に不備がある場合は受付できません。
- (2) 出願後は書類等の内容を変更できません。
- (3) 一度受付した出願書類および納付された入学検定料は、理由のいかんを問わず返還しません。
- (4) 出願書類等に虚偽の記載をした場合、入学後であっても入学の許可を取り消します。
- (5) 身体に障がいがある者のうち、受験上および修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願の前にあらかじめ申し出てください。

## IV 受験上の注意

- (1) 面接については、指定された時間までに面接控室に入室し、待機してください。
- (2) 携帯電話、スマートフォン、PHS、ウェアラブル端末等は、入室前にあらかじめ電源を切ってください。
- (3) 土曜日、日曜日および祝祭日は、昼食の販売はしておりませんので、各自で用意してください。(大学周辺に、弁当などを販売する店はありません。)
- (4) 宿泊の斡旋はいたしません。

## V 合格発表

### 1 合格発表日

2020年8月17日(月)

### 2 合格発表の方法

合格者本人あてに文書で通知します。

## VI 入学手続

### 1 入学手続期間

2020年8月17日(月)～8月31日(月)

### 2 入学手続方法

合格通知に同封する「入学手続案内」に従ってください。

#### (1) 入学金

合格通知書に同封する納付書により、入学手続期間内に支払っていただきます。現行の金額は次のとおりですが、2021年度については変更することがあります。

- ① 渡島・檜山管内の者 226,000円
- ② 上記以外の者 310,000円

(注) 渡島・檜山管内の者とは、本人または1親等の親族またはこれに準ずる者が、下記の市町村に2020年4月1日以前より引き続き住民登録している者をいいます。

(入学手続時、住民票を提出していただきます。)

〔渡島管内〕函館市、北斗市、七飯町、松前町、福島町、知内町、木古内町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町

〔檜山管内〕江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、今金町、せたな町

#### (2) 学生教育研究災害傷害保険料および学研災付帯賠償責任保険料

現行の金額は次のとおりですが、2021年度については変更することがあります。

- ① 学生教育研究災害傷害保険料(3年間分) 2,600円
- ② 学研災付帯賠償責任保険料(3年間分) 1,020円

### 3 入学手続上の注意

- (1) 期間内に手続きを完了しなかった者には、入学を辞退したものととして取扱います。
- (2) 必要な書類がすべて揃っていない場合は受付できませんので、よく確認してください。
- (3) 手続期間を過ぎて到着したものは受付しません。
- (4) 一度受付した入学手続書類および納付された入学料は、理由のいかんを問わず返却しません。

## VII その他

### 1 授業料

現行の金額は次のとおりですが、2021年度については変更することがあります。

① 金額（年額） 535,800円

② 納入方法

前期（納付期限4月末）・後期（納付期限10月末）の2回（各267,900円）に分けて納付します。

### 2 奨学金、授業料免除および下宿・アパートについて

これらについては、事務局教務課学生支援・就職担当（メール：stu@fun.ac.jp）にお問い合わせください。

## Ⅷ 博士（後期）課程指導教員と研究分野一覧

教 員 名		研 究 分 野
教 授	伊藤 精英	生態心理学, 視覚障害心理学, ヒューマンインタフェース, 認知科学
教 授	稲村 浩	モバイルコンピューティング, スマートデバイスのシステムソフトウェア, モバイルネットワークとセキュリティ
教 授	<small>ヴァランス マイケル</small> Vallance, Michael	Task design in 3D immersive virtual learning environments
教 授	大澤 英一	人工知能, 自律エージェント, 大規模マルチエージェントシステム, 協調ロボット, 複雑ネットワーク
教 授	大場 みち子	ソフトウェア工学, 知的行動分析, ドキュメンテーションシステム, 教育支援システム
教 授	岡本 誠	情報デザイン, インタクションデザイン, シナリオベースドデザイン, ヒューマンインタフェース
教 授	川口 聡	統計力学, 非線形物理学
教 授	川越 敏司	実験経済学, ゲーム理論, 人工市場
教 授	川嶋 稔夫	情報メディア, 画像情報処理, ウェアラブル機器, 実世界情報処理, デジタルアーカイブ
教 授	木村 健一	美学
教 授	齊藤 朝輝	非線形科学
教 授	櫻沢 繁	生物物理 (筋肉タンパク質の運動, 生命の起源と進化, 機能性高分子, タンパク質結晶成長), マンマシンインタフェース
教 授	佐藤 直行	脳科学, 計算論的神経科学, 生体計測
教 授	佐藤 仁樹	レシピ設計支援ツール (食材・配合量の最適化), 非線形時系列の予測, 高次元非線形システムの解析と最適化
教 授	姜 暁鴻	無線ネットワーク, 光ネットワーク, ネットワークの保護, ミッションクリティカルネットワーク, ネットワークの攻撃検出/予防
教 授	白石 陽	データベース, センサネットワーク, 高度交通システム, 地理情報システム
教 授	鈴木 恵二	マルチエージェントシステム, マルチロボットシステム, 機械学習, 最適化, ゲーム理論, 観光情報学
教 授	鈴木 昭二	移動ロボット, 超広角画像システム, ネットワークロボットサービス
教 授	角 薫	メディア情報学, アフェクティブ・コンピューティング, デジタル ストーリーテリング, 説得技術, 人工知能
教 授	角 康之	ヒューマンインタフェース, コミュニケーション, 人工知能, ライフログ
准教授	竹川 佳成	ヒューマンコンピュータインタクション, 人間拡張 (Augmented Human), 教育工学, 音楽情報科学, エンタテインメントコンピューティング
准教授	竹之内 高志	統計的機械学習, パターン認識
教 授	中小路 久美代	ヒューマンコンピュータインタクションデザイン, 共創環境, 学習支援環境, 触発するミュージアム, データ体験, ソフトウェア開発, 知的創造活動支援

教 員 名		研 究 分 野
教 授	長崎 健	コンピュータビジョン, ウェアラブルシステム
教 授	中田 隆行	音楽知覚認知, 相互作用行為の神経科学, 音楽の神経科学
准教授	中村 嘉隆	情報セキュリティ, ユビキタスネットワーク, 無線通信, 位置情報サービス
准教授	新美 礼彦	データマイニング, データベース, 人工知能
教 授	花田 光彦	視覚心理学, 視覚情報処理
教 授	原田 泰	情報デザイン, コミュニケーションデザイン
教 授	平田 圭二	音楽情報学, 人工知能, コミュニケーション科学, 高度道路交通システム
教 授	藤野 雄一	情報メディア, ビジュアルコミュニケーション, 画像処理, 医療情報, 遠隔医療
教 授	フランク イアン Frank, Ian	人工知能, ゲーム理論, 説明生成, エンタテインメントシステム, インタラクション
教 授	三上 貞芳	ロボティクス, インテリジェントコントロール, ライフサポート技術
教 授	美馬 のゆり	学習環境デザイン, 教育工学, ヒューマン・インタフェース, 科学コミュニケーション
教 授	美馬 義亮	インタラクティブシステム, 実世界指向システム, インターネットアプリケーション, 情報表現, 発想支援
教 授	宮本 エジソン 正	言語理解, 認知科学
教 授	迎山 和司	コンピュータアート, ヒューマンコンピュータインタラクション
教 授	由良 文孝	離散可積分系, セルオートマトン, 量子情報理論
教 授	リアボフ ヴラジミール Riabov, Volodymyr	Deterministic chaos in nonlinear oscillatory systems. Signal processing with applications in astrophysics and geophysics.
教 授	和田 雅昭	IoT, 水産情報学, マリン IT